編集上配慮した点

―現代的な諸課題への対応―

新版の教科書では、題材で使用するプラ材の削減、防災・安全教育、言語活動の充実などに取り組んでいます。また、特別支援教育に関する配慮やインクルーシブの観点での取り組みなどを掲載し、図画工作科の特性を生かして、現代的な諸課題への対応を図ることができるよう工夫しています。

資源・環境の視点から

プラ材を 約70%削減！

プラスチック製の空き容器やストローなどを大量に使用する題材を削除または別の材料を使う題材に変更し、令和２年度版と比べて、題材で使用するプラ材を約 70%削減しました。

3・4 下 p.32-33「広がる図工 すてられそうなものがよみがえる」

使い終わったものや捨てられようとしていたものを、アイデアと工夫で商品や作品としてよみがえらせている人たちの活動を紹介しています。身の回りのものへの新たな見方や価値の再創造を促します。

VEGETABLE OIL INK

環境にやさしい植物油インキと再生紙を使用しています。

1・2 下 p.20-21「しんぶんしと なかよし」

かたづけマークで、材料や用具を大切に使うために確かめることを示しています。材料の再利用を促し、環境問題への関心を高める工夫をしています。

防災・安全教育

子どもや日本語を母語としない人にも分かりやすい防災サインの事例を紹介しています。防災・安全教育の専門家である河田惠昭先生による校閲のもと編集されています。

津波の時に水が来る高さを伝えたい

浸水深サイン
（どうぶつものさし）

5・6 上 p.36-37「広がる図工 どんなことをどんな方法で」

profile

河田 惠昭 先生
関西大学社会安全研究センター長・特別任命教授

言語活動の充実

題材において対話している情景写真や発表の様子を掲載するとともに、友だちと対話しながら鑑賞するページを設定し、言語活動を促しています。多様な感じ方や作者の思いを尊重することの大切さも伝えています。

5・6 下 p.5-7
「わたしとひびき合う／絵の具スケッチ」

1・2 上 p.56
「ともだちの さくひんを みて はなそう」

伝統文化

5・6 下 p.38・41
「教科書美術館
受けつがれてきた形」

発達の段階に合わせて、題材ページや特設ページで身近な伝統文化や日本各地の伝統工芸について紹介しています。

多文化共生

国際理解について考えられるよう諸外国の児童の作品やオンラインで外国の児童と交流する事例を掲載しています。

3・4 上 p.20-21
「あの日あの時の気もち」

ICT活用

3・4 上 p.52-53「広がる図工 みんなとつながる」

ICT活用

情報モラル

ICT を活用する際に必要となる情報モラルや著作権について説明しています。

3・4 上 p.63
「ICT の活用 インターネットを活用する」

5・6 上 p.65
「ICT の活用 タブレットたん末を活用する」

SDGsの観点について

詳しくは、別冊『図画工作でできる！SDGs持続可能な社会の実現に向けて』

編集上配慮した点
—現代的な諸課題への対応—

特別支援教育に関する配慮

カラーユニバーサルデザインに配慮

色覚特性の有無にかかわらず、全ての子どもが等しく学べるようコントラストや文字の背景色など、カラーユニバーサルに配慮して編集しています。また、特別支援教育の専門家である大内進先生による校閲のもと編集されています。

profile

大内 進 先生
星美学園短期大学
日伊総合研究所客員研究員

5・6 下 p.62-63「木を組み立ててつくる」

色の濃淡だけではなく、斜線を引いて示すことでより見分けやすくなるよう配慮しています。

ユニバーサルデザインフォント

見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。

UD FONT

拡大教科書・学習者用デジタル教科書

文字の大きさを変えた拡大教科書を製作します。また、文字の拡大や音声の読み上げなど、特別な配慮を必要とする児童が活用できる機能を備えた学習者用デジタル教科書を製作します（詳しくは p.43）。

多様な児童に配慮した題材設定

- 支持体の大きさ、形、素材などがさまざまな作品を掲載し、児童の多様な表現を認められるよう配慮しています。
- 多様な児童が主体的に取り組めるよう、「材料に触れながら発想する題材」「材料の種類や数を絞った題材」「鑑賞して感じたことを、言葉だけでなく体を使って伝える題材」など、インクルーシブ教育に配慮して実践できる題材を設定しています。
- 児童の実態に応じて活動の仕方を考えることができるよう、同一題材の中で「屋内／屋外」「自然材／身辺材」「個人／協働」など、複数の実践パターンを示しています。

持続可能な開発目標（SDGs）

子どもたちが持続可能な社会について考えられるよう ESD の観点に立った題材や事例、持続可能な開発目標（SDGs）を掲載しています。

5・6 上 p.36-37「広がる図工 どんなことをどんな方法で」

平和・人権・福祉・インクルーシブ

5・6 下 p.48-49「広がる図工 平和を願って」

平和学習や人権学習との関連を図ることができる図版や事例を掲載しています。

5・6 上 p.26-27「美しく立つはり金」

写真やイラストにおいて、多様なルーツをもつ児童や、幼児、高齢者、障がいのある人など、多様な人々と関わる姿を掲載しています。

5・6 上 p.36-37
「広がる図工 どんなことをどんな方法で」

触れて味わうことができる作品や視覚障がい者のための設備、使いやすさに配慮したデザインのコップなど、福祉について考えられるような題材や事例を掲載しています。

5・6 上 p.28-29「ふれて伝えるストーリー」

5・6 下 p.30-31「広がる図工 生活を豊かにする形」

SDGsの観点について

詳しくは、別冊『図画工作でできる！SDGs持続可能な社会の実現に向けて』

ICT活用

自分の好きなように自分を表現する

障がい者多機能型事業所「やまなみ工房」で利用者一人ひとりが、それぞれの表現活動を楽しむ姿を紹介しています。

まち歩き
―善光寺参道から信濃美術館へ―

QR コンテンツでは、美術家の光島貴之さんによる作品解説の動画を視聴できます。